

事業所名

アルムの家

支援プログラム

作成日

2024年

3月

20日

法人（事業所）理念		障がいのある人が、これからの生涯で自立し、やりがいのある仕事を見つけ、生活設計を立てられるよう、将来に希望が持てるよう、仕事をするところであるように、つながる支援をします。								
支援方針		障がいのある子どもたちが日常生活における基本的な動作を習得し、集団生活に適応することができるように、適切な指導及び訓練を行ない、さらに、学校や地域とも連携を取りながら保護者の皆様への支援を行います。								
営業時間		9時	0分	から	18時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	健康状態の維持・改善、生活のリズムや生活習慣の形成、基本的な生活スキル獲得の支援を行います。 一人一人のお子さんが健やかな身体と心を持ち、日常生活を自立して送ることができるようにするため、健康な生活習慣の促進や、健康な心と生活のスキルの獲得を目指しています。								
	運動・感覚	運動能力や感覚統合の支援を行います。 間隔調整や運動能力の向上を図り、日常生活や学習活動における支障を軽減し、自己肯定感や自己効力感を高めます。								
	認知・行動	認知機能の向上や適切な行動の獲得の支援を行います。 発達に応じた教科学習の支援、認知の方よりに対する予防と状況に応じた適切な行動への対応力を高めます。								
	言語 コミュニケーション	言語能力の向上やコミュニケーションスキルへの支援を行います。 適切なコミュニケーション能力の獲得や自己表現力の向上を図り、社会生活における関係性やコミュニケーション能力を高めます。								
	人間関係 社会性	他者との関わりの中で社会性の発達と集団活動や社会参加の支援を行います。 集団活動でのルールに合わせた行動等や社会参加の経験を通じて、他者との関係や社会性の向上を図り、社会生活における適応力を高めます。								
家族支援		日常生活において、こどもの意思を大切にしながら過ごすことができるように、家族と情報を共有して、こどもとの関わり方等を支援します。				移行支援		学校を訪問し、普段の様子や、行事等、普段とは異なる活動の際のこどもとの関わり方について情報を交換します。		
地域支援・地域連携		関係機関での役割分担を行うと共に、それぞれの機関で得られた情報を共有し、日常的な生活や支援に活用します。				職員の質の向上		事業所内研修を実施して、職員全員が同じ意識で支援することができるようにします。		
主な行事等		季節に合わせた活動（春見つけ、節分の豆まき、ひな祭り、夏祭り、クリスマス会等） 地域の図書館利用、観察館等見学								